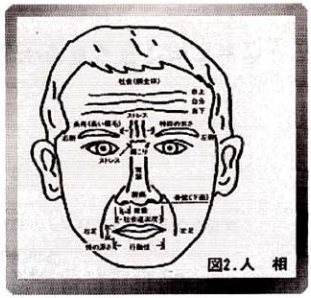

図2.人　相

＜額のシワの観方＞

□ 額のシワで人間関係を見ることができる。図２のように、中央のシワは、自分自信、本人の実力を表す。上のシワは目上・上司を示し、その人の引き立てによって伸びていく。
　下のシワは、目下・部下のシワで、良い部下に恵まれたり、部下の育て方が旨いと伸びていく。シワが３本とも綺麗だと上司・部下に恵まれ、自身も伸びていき人間関係が良い。だが、強烈な個性はない。
□ ところで、強烈な個性がある人は中央１本のような人。上下に頼らず自分の腕一本で伸びていく、典型的な技術屋タイプだ。
□ 尚、全くシワがなくても別に心配はない。でも、縦シワ、ストレスシワがあるのは良くない。首から上の病気（脳溢血、脳梗塞）や事故に、またはストレスによる胃腸病など要注意である。

＜眉間の観方＞

□ 眉間の広さによって神経の太さが分る。普通の人は指２本分くらいの幅で、特に問題はない。これより狭い人は神経こまやかで、いろいろな気配りができる。だが、ストレスがたまり易いので、気が付いた事はどんどん処理し、忘れることが大切。最悪の事態は考えないようにする。胃腸病に要注意。
　一方、広い人は概してのん気。ストレスはたまらず、胃腸病などはまず無縁。だが、回りに助けてくれる人がいないと物事が進んでいかなくなる。
　ところで、指４本以上の広すぎる人は、のん気を越して、何事もルーズになる。約束や借金は忘れ、時間も守らない。このような人が経営者でトップだったら、必ず「狭い人」が補佐に付いていないと駄目、何もまとまらなくなってしまう。

□ ついでに、眉毛について言うと、眉毛の長さは長生きを表す。特に１、２本長い毛が出てくると、長生きの体質に変わっていく。だが、若い（４０歳前）内から長い毛があると、本質的に凄く女性が好き。

＜口と唇の観方＞

□ 小さい口と大きい口の違いは、小さい口の人はコツコツと同じことを続けていく持久力・耐久力がある学者や研究者タイプ。
　一方、大きい口の人は、コツコツと地道にやることは向かないが、行動力と決断力に優れている。例えば、地道な研究結果をきちんと出すのは小さい口の人で、その成果を社会に発表して、旨いことやるのは口の大きい人である。

□ 次に、唇の厚いのと薄いの違いは、薄いのはクール、厚みのあるのは情けがある。だが、凄く分厚くて輪郭がボケていると、色と欲で失敗する。即ち「ＮＯ！」と言えない締りのないタイプ。よって、分厚いタイプは冷静な判断に欠けるので、クールな参謀が必要だ。
尚、上唇が厚いと自分から情けを掛ける。下唇は人から掛けられ、恋愛では相手から大切にされる方を好む。

＜運命＞

□ 東洋の運命学では「運命」を「命を運ぶもの」と解し、物事はどんどん移り変わっていくものだとする。人相・手相もそうである。
日常生活の癖が眠っているときに表れ「相」として表れるのだ。だから、毎日の癖を良い意味で癖付けすることにより、人生はどんどん良い方向に変わっていく。

ということで、「今日の人相の話し、どうぞお仕事に役立ててください」と結ばれました。

前に戻る